

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月22日

事業所名：発達療育 レンテ市川第二

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1	4名ご利用者がいて4部屋使用していると、個室で保護者面談をするスペースがない。個人情報やプライベートな話をするため、適切とは言い難い。おもちゃの部屋など別室を用意する等で工夫していきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	通所型(児童発達支援)の配置基準を満たしているが、業務拡大の中で、さらなる職員の補充が望ましい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2	・普段の清掃に加えて、エアコンや床清掃を業者に依頼し、より衛生的にしたい。 ・毎日の終業後の清掃や、定期的な玩具の消毒を今後も丁寧に行っていきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1	事業所内の環境をよくしていこうと職員が自発的に意見を出し合える場を作っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	6	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	経験年数やスキルに応じた指標を提示する等、もっと、キャリアに合わせた研修機会を確保してほしい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	発達検査等を用いている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	計画策定時の見立てとご利用者の成長速度に差が出るケースがあるが、その都度、プログラムによって、修正がかけられている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3	ケースミーティングを行ったり、スーパーバイザーから担当セラピストへの確認など、その都度チームで行えていると思う。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	プログラム立案時に、固定化を防ぐような声掛けを行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	1	個々のご利用者様の利用時間帯が決まっているため、年度途中の集団活動の設定が難しい。年度の始めに集団活動ができるお子さんを同じ枠に集める声かけをしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	文章での引継ぎを毎回行っている。そのうえで、重要なことについては口頭伝達も行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	その日の支援内容は毎回記録で残し、特筆すべき点についてはその日の内に担当内で共有するようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	一人ひとりの職員が努力してくれている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	2	事業所内では支援計画に捉われず、必要がある場合には支援計画を適宜修正している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	会議の際には、プログラム作成担当者が出席している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	4	レンテ以外の機関での支援が必要な家庭もあるため、必要であればリファーできるように今以上の連携がもっと必要だと感じる。
	23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	保護者からのご要望に応じて実施している。
	24 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	移行支援として就学するご利用者様に向けて、引き継ぎ書の作成を行っている。
	25 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	作業療法士や言語聴覚士からの助言を受けている。
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	2	今年度セラピストが参加した。今後も参加する時間を確保していきたい。
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	日頃のフィードバック時や、スーパーバイザーが指導に同席したときにお伝えしている。
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	0	テーマに沿って家庭でのお子様の様子を記録してもらう方法を取っている。また、実際に親御さんにセッションに入って頂くケースもある。さらに、ご家庭のニーズに沿った支援策を今後も模索していきたいと考えている。
保護者への説明責任等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	ご契約時に事務担当から伝えている。
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	半年に1回実施している。また、期間内に変更した場合にはその都度同意を得ている。
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	スーパーバイズの際に実施している。(月1回程度)また、必要に応じて他の社会資源のご紹介も行っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	8	
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	相談や申入れに対して、実現可能か協議し、実現できる箇所は適宜対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	7	
	35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	
非常時等の対応	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1	今年度より防犯対策として、不審者侵入対応についての訓練を実施し、対応方法を共有した。また、感染症対策に関しては訓練を実施している。
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	ご利用者様とともに、地震を想定した避難訓練を実施している。職員の方では、火災を想定した避難訓練を実施している。
	39 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	0	フェイスシートにご記入頂いた情報を基に、ご利用開始前に確認を行っている。変更点があれば、職員間で共有している。
	40 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	その日起こったヒヤリハットは終礼で報告後、報告書を作成し、職員間で回覧している。
	41 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	・年1回、虐待防止研修に参加した職員から、研修内容を周知している。 ・昨年、研修内容の共有を受けたそうだが、記憶に残っていない。より一層の研修内容の周知や対応方法の徹底を行う必要がある。
	42 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	0	利用開始時にご説明し、承諾を得ている。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和3年3月22日

事業所名： 発達療育 レンテ市川第二 保護者等数（児童数） 20（22） 回収数 12 割合 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	1	新人職員が続くときは、少し不安になる。担当者の割り振りが気になる。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1	0	0	トイレや個々の部屋だけでなく、職員室・待合室・運動スペース等も視覚的な補助があるとよい。（例：「しょくいんしつ」と入り口に貼る）
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	0	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	12	0	0	0	発達検査等を用いて分析しており、公費の事業所でここまで分析してくれるところはあまりないと思う。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	0	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	0	0	支援のおかげで成長を感じ、嬉しい。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	11	1	0	0	
保護者 への 説明 等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1	0	0	変更の際は、事務担当より説明が必ずある。
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	0	0	0	半年に一度、スーパーバイザーより支援計画に基づく説明があり、お互いに話し合いながら計画書が作成されるのが良い。
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	10	1	0	1	1か月に1度、面談があり、課題の説明を詳細にしてもらっているが、これがペアレントトレーニングに該当するのか分からない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	0	0	0	
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	0	
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・特に必要性を感じない。 ・休憩したい親御さんもいると思うので、特に連携はいらないと思う。 ・父母の会はないが、待ち時間に他の保護者と話す機会はある。 ・コロナ禍ということもあり、保護者会の開催自体が難しいと思う。
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	0	0	0	
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	0	0	スーパーバイザーとの面談日に、個室が埋まっているとオープンな場所での面談になり
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	2	2	2	特に必要性を感じない。
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	0	0	0	
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	0	0	0	
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	0	
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の場であるのに楽しみと思える環境づくりがされている。 ・家を出発する時から楽しみにしている。
	22	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0	大変満足している。支援の効果が見えている。